## 金光上人鑽仰御和讚





ポイント注意 陽旋法の音程に気をつけます。後段の「祈り求めし」を頂点に力強く盛り上げます。

最後2小節のハーモニー、4度の共鳴をていねいに。

最終「お念仏」は力強く、ゆっくり「あみだぶつ」とオクターブのハーモニーで終ります。合唱として唱えなくても結構です。

(歌詞は98ページ)

## ※ (音譜は96ページ)

## ひゃ ほんべんだいねんじゅ く 百万遍大念珠繰り和讃

高津 ときを 作詞

南無阿弥陀仏 阿弥陀仏 南無阿弥陀仏 阿弥陀仏

南無阿弥陀仏 阿弥陀仏

- 2 きらめく利剣 名号は 修蘿のやみ路を 切りひらき 悩み・苦しみ・悲しみの 胸に解脱の 灯をともす 南無阿弥陀仏 阿弥陀仏
- 3 親珠字珠 千八十 つらなり光る 大念珠 縁の糸を 芯にして 人のこころを 輪に結ぶ 南無阿弥陀仏 阿弥陀仏 南無阿弥陀仏 阿弥陀仏
- 4 日課念仏 唱えつつ つもる功徳の ありがたさ 一つ繰っては 父母のため 二つ繰っては 子の向向 南無阿弥陀仏 阿弥陀仏 南無阿弥陀仏 阿弥陀仏
- 5 先祖供養の ご利益は この世あの世に 広がって 死ぬも生きるも 弥陀まかせ 念珠繰る手に 花が咲く 南無阿弥陀仏 阿弥陀仏 南無阿弥陀仏 阿弥陀仏

## こんこうしょうにんさんごう 金光上人鑽仰和讃

高津 ときを 作詞

- 1 津軽の里の 飢え寒さ 吐血の病に 倒れつつ 陸奥の土地みな 浄土化を 祈り求めし 聖あり
- 2 名は石垣の 金光房 法然上人を 師と仰ぎ 二祖聖光と 並び立つ 高徳英智の 行鼬僧
- 3 花浴をあとに 蝦夷地もと 奥州行化の 死の旅路 悲願のはては 行丘山 馬捨の森の わび住居
- 4 耳には驚っの 南梨県 身には瓦石の 降るなかを 不軽大士も さながらの 苦難に耐えて 法を説く
- 5 ああ殉教の この聖者 七七八起 闘いて 建保の春に 逝きしより 今に七百 七十年
- 6 南無や尊き そのみあと 野辺の夕陽も 金光の いのちとばかり 輝きて とわにわれらを 照らすなり 南無阿弥陀仏 阿弥陀仏 南無阿弥陀仏 阿弥陀仏

は

94

~

ージ